

# 情報掲示板

お得なご招待や日々の暮らしに役立つ情報など



発行 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会  
大阪市ボランティア情報センター  
住所：〒543-0021  
大阪市天王寺区東高津町 12-10  
大阪市立社会福祉センター内  
電話番号：06-6765-4041  
FAX：06-6765-5618  
協力 大阪弁護士会  
大阪市各区社会福祉協議会

## 有森裕子さん講演会にご招待

オリンピック女子マラソンメダリスト有森裕子さんの講演会にご招待いたします。

「思い続ければ 夢は叶う」

日時：平成24年4月19日(木)  
14:00～(開場13:30)

場所：大阪市立中央公会堂  
地下鉄御堂筋線/京阪電鉄  
淀屋橋駅1番出口から徒歩5分  
地下鉄堺筋線/京阪電鉄  
北浜駅2号出口から徒歩6分  
京阪電鉄中之島線  
なにわ橋駅1番出口から徒歩1分

対象：東日本大震災による県外避難者の方

詳細は別途チラシをご覧ください。  
参加希望の方は、下記まで申込みください。

大阪1ゾンタクラブ  
電話：072-632-5586 永井

## 鹿児島県徳之島出身者の運動会へ参加しませんか

鹿児島県の離島、徳之島「伊仙町」の出身者の会「関西伊仙中部会」が運動会を開催いたします。大阪へ来て苦労した経験や故郷への思いなど、大阪へ避難されている皆様とも共通点が多くあるのではないかと思います。一緒にスポーツを楽しみながら親交を深めませんか。

日時：平成24年4月22日(日)  
10:30～16:00

場所：大阪市北区 扇町公園  
地下鉄堺筋線 扇町駅 すぐ  
地下鉄谷町線 中崎町駅から徒歩5分  
JR大阪環状線 天満駅から徒歩5分

申込：大阪市ボランティア情報センター  
06-6765-4041 担当：修田

締切：平成24年4月6日(金)

当日は昼食もご用意いたします。一緒にプログラムにも参加して賞品をもらってください！子ども向けコーナーもありますのでご家族連れでもどうぞ！

## 木下大サーカスご招待にお申し込みありがとうございました

木下大サーカスから大阪花博公演のご招待に多数お申込みいただきました。大変な人気で、特に春休み中は平日でも混雑しているようです。ご招待券は一般席で先着順での入場になりますので、公演時間から余裕をもってご来場くださいますようよろしくお願いいたします。

### ～いただいたご感想～

- ・数十年ぶりのサーカスでした。とても楽しませていただきました。
- ・ゾウの逆立ちや二足歩行など驚きました。
- ・思っていたよりも近いところで観ることができて大興奮！！
- ・サーカスは地元にはなかなか来ないので、大阪で観れて嬉しかった。
- ・ブランコはやっぱりサーカスの花形ですね！

## はじまるくんパソコン寄贈プログラムお申込みありがとうございました

この度(株)オービス総研様・(株)サンモアテック様にご協力いただいたパソコンの寄贈プログラムにお申込みいただきまして、誠にありがとうございました。今回は10台のご提供でしたが、46名の方からお申し込みをいただき、厳正な抽選の結果10名の方を当選とさせていただきました。当選者の方には後日(株)オービス総研様より各種申請用紙を送付させていただきます。

今回非常に多数の方からご希望をいただきパソコンの需要が本当に高いことを実感いたしました。また今後このような提供がありましたら本紙を通じてお知らせいたします。



## 避難されている子ども家族と被災地でボランティア活動をします

3月27日(火)の夜に出発して、避難されている方子ども会「あさがお」と大阪市ボランティア情報センターが事務局を担っている「市民フォーラムおおさか」が共催して、仙台市若林区荒浜笹屋敷地区の住民との交流活動のため、バスで現地を訪問します。避難されている3家族が参加予定です。

笹屋敷地区では震災被害のためたくさんの人が地区を離れておられる状況にあり、戻ってきもらえるような魅力的な町にしようと一緒に花壇づくりを行います。また、食事づくり等を通じて、交流を深めるというプログラムです。

秋保温泉で宿泊し、大阪には30日(金)の夜に戻る予定です。市民フォーラムおおさかイメージキャラクター ココくん ↓

### 市民フォーラムおおさかとは？

私たちが暮らしている地域「コミュニティ」のこれからを考えていくために、身近な地域の中でフォーラムを開くことで、多くの方に学びや気づきの機会づくりを目指しています。

現在は「防災・減災」を重点テーマに、大阪市内各所でこのテーマにまつわるフォーラムを実施し、住民同士の対話を通じて地域課題を発見・解決していく「コミュニティ・コミュニケーション」を目指します。昨年8月には宮城県石巻市鹿妻地区へ行き、現地住民との交流を行いました。被災地での活動を活かし、災害に強い街づくりに取り組んでいきたいと考えています。



市民フォーラムおおさか

## ご質問、ご連絡等は...



IMONIKAIバックナンバーもお送りできますのでご希望の方はご連絡ください。

社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-10 大阪市立社会福祉センター内  
Tel 06-6765-4041 / Fax 06-6765-5618

≪利用時間≫  
月～金曜 9:30～20:30 土曜 9:30～17:00

≪休館日≫

日曜・祝日・国民の休日及び  
年末年始(12月29日～1月3日)  
E-mail: ocvic@osakacity-vnet.or.jp

## 震災復興応援イベント 3.11 from KANSAIが開催されました

昨年の震災からちょうど1年を迎える平成24年3月10日・11日、梅田スカイビルにて、震災復興応援イベント 3.11 from KANSAIが開催されました。地震が発生した11日の14時46分には、広場のステージを囲み手を繋いで祈りを捧げました。



## 避難者のつどい 3.11 "with" KANSAI

このイベントの中で、関西に県外避難で来られている方々をお招きした交流会、「避難者のつどい 3.11 "with" KANSAI」を開催いたしました。これまで大阪市内での交流会は何度か開催してきましたが、関西一円へ呼び掛けたのは初めての試みで、当日は295名の方にお越しいただきました。

## 様々な問題、具体的な支援へ

交流会では、近い年代の方でテーブルを囲み、様々な胸の内をお話しいただきました。「同じ境遇の避難者と知り合えて良かった」「地元へ戻りたいが環境に不安があり踏ん切りがつかない」「子どもは今の生活に慣れたので地元に戻るかここで暮らしていくか迷う」「補償がどうなっていくのか不安」「避難者も自立へ向かっていなくては」など避難者の方々の想いや悩みは本当にそれぞれで、柔軟な支援の必要性を感じました。今回お話いただいたことを受け止め、様々な支援団体や企業と連携して、支援の輪を広げていきたいと思っております。



## 震災から1年を迎えて...

今回の交流会を開催するにあたって、交流会会場の準備や設営、無料バザーの物品提供や準備、お子様のお預かり保育、飲食ブースに多数のボランティアの方々や支援団体・企業のご協力をいただきました。この一年間、震災に関して「何かできないか」という声は毎日のように寄せられており、災害への関心の高さを強く感じています。

災害というものはいつどこでどのように起こるのか、まったく分からないものです。災害にあうことを他人事と思うのではなく、被災された方に寄り添い自分にできることを探していくその姿勢には、本当に大切なことをたくさん学ばせていただきました。

自分のペースでいいから、前を向いて歩いていこう。  
みんなが支えてくれている。 修田 翔





大阪弁護士会では皆様のご相談をお待ちしております。  
お気軽にお問い合わせください。

フリーダイヤル	0120-062-545
電話番号	06-6364-1248
受付時間	月曜～金曜 13:00～17:00

## 中間指針第2次追補の概要

本年3月16日、文部科学省に設置された原子力損害賠償紛争審査会が、「東京電力株式会社福島第一、第二原子力発電所事故による原子力損害の範囲の判定等に関する中間指針第二次追補(政府による避難区域等の見直し等に係る損害について)」を策定しました。以下は、その概要の一部です。これは、審査会が目安として設定しているものに過ぎず、この基準でしか賠償が認められないというものではありません。詳細は、大阪弁護士会ニュース11号をご覧ください。

### 1 政府による避難指示等に係る損害について

(1) 精神的損害の目安

#### ア 避難指示区域

政府は、平成24年3月末を目途に、

- ① 避難指示解除準備区域(年間積算線量が20ミリシーベルト以下となることが確実であることが確認された地域)
- ② 居住制限区域(年間積算線量が20ミリシーベルトを超えるおそれがあり、住民の被曝線量を低減する観点から引き続き避難を継続することを求める地域)
- ③ 帰還困難区域(長期間、具体的には5年間を経過してもなお、年間積算線量が20ミリシーベルトを下回らないおそれのある、年間積算線量が50ミリシーベルト超の地域)

という新たな避難指示区域を設定する予定です。これらの地域(以下「避難指示区域」と言います。)内に本件事故発生時における生活の本拠としての住居があった方については、中間指針の期間を政府の避難区域見直しまで延長するとともに、上記政府の避難区域見直し後の避難費用及び精神的損害の目安は次のとおりです。

- ① 避難指示解除準備区域は月額一人10万円
- ② 居住制限区域は月額一人10万円とした上、概ね2年分としてまとめて一人240万円の請求もできる
- ③ 帰還困難区域は、一人600万円。ただし、帰還できない期間が長期化する等の個別具体的な事情によりこれを上回る額が認められこともあります。

避難指示等の解除後に賠償の対象となる期間は、今後の状況を踏まえて判断し、当該期間内は個々の避難者がどの時点で帰還したかを問わず一律に賠償する。

#### イ 旧緊急時避難準備区域

(ア) 事故1年後以降の損害額(慰謝料)は月額一人10万円

(イ) 賠償対象となる期間は、本年8月末までを目安(医療・福祉体制、学校の状況等個別の事情に応じて柔軟に判断)とし、事故1年後以降は、どの時点で帰還したかを問わず一律に賠償する。

(ウ) 既に帰還した者及び滞在者は、個別具体的な事情に応じて賠償対象とする。

#### ウ 特定避難勧奨地点

(ア) 1年後以降の損害額(慰謝料)は月額一人10万円

(イ) 賠償対象となる期間は、解除後3カ月を当面の目安とし、当該期間内は個々の避難者がどの時点で帰還したかを問わず一律に賠償する。

(2) 営業損害・就労不能等に伴う損害

ア 当面は終期を示さず、個別具体的な事情に応じて合理的に判断する。

イ 転業・転職や臨時の営業・就労等が特別の努力と認められる場合、その収入は損害額から控除しない等の合理的かつ柔軟な対応が必要。

(3) 不動産の価値の喪失又は減少等

ア 帰還困難区域の不動産は、価値減少率を100%(全損)と推認する。

イ 居住制限区域及び避難指示解除準備区域の不動産は、避難指示解除までの期間等を考慮して価値減少率を推認する。

ウ 居住用の建物は再取得価格を考慮するなど合理的に評価する。

### 2 自主的避難等に係る損害について

本年1月以降、区域の設定は行わず、子供及び妊婦について個別の事例・類型毎に判断する。

#### 原発事故被災者支援関西弁護士団ご連絡先

(TEL) 06-6362-9615

弁護士事務局長

(FAX) 06-6362-5143

大阪共同法律事務所 弁護士 白倉典武

## 書道家 日吉丸

東日本大震災復興応援イベント「3.11from KANSAI」にて、ご自身も被災され青森県八戸市から大阪市へ来られた書道家の日吉丸(ひよしまる)さんが作品を展示されました。メインステージの後ろに掲げられた文字は「創世想愛」。こちらは震災から1年を迎える3月11日のために日吉丸さんが考えられた造語で、「創世」にはこれからの復興(復幸)を目指していくにあたって、以前と同じものを取り戻すことはできなくとも、さらに良いもの・世の中を創っていくように想いを込めて、「想愛」には人間が互いに想いあっていく気持ちを込めています。また「愛」の字には敢えて「イ」(にんべん)をつけて、「人の心・支え合い」を表現しています。



↑お笑い芸人のキングコング西野さんと共同制作した鯉のぼり。胴体書いてある「まだまだこれから」は3.11イベントのキャッチフレーズです。

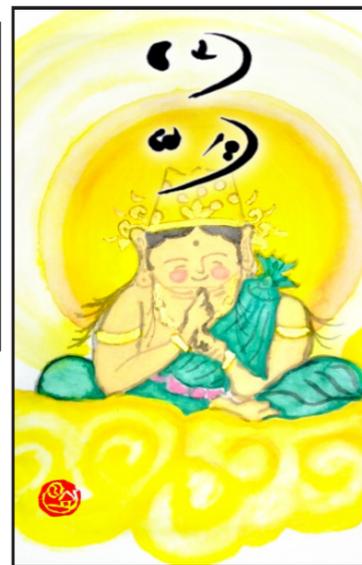


日吉丸さんは八戸市でもこれまでに13回もの個展を開かれており、その作品は800点にも及びます。震災で自宅が半壊となったことを機に、古くからの都で様々な感性に触れることができるのではと大阪市へ活動の場を移されました。

「書画を通じ皆様にはげましや癒し、また感謝を伝えたい」と言う日吉丸さん。温かく迎えてくれた大阪という土地への感謝を胸に、人の絆や繋がりや強さを表現し、大阪での個展開催を目指して今日も筆をとり続けます。

←「創」の「リ」(りっとう)は今年の干支の龍をイメージしたもの。龍神に日本国を見守ってもらえるようお願いも込めています。字体や筆順にとらわれない自由な作風です。

今年のお正月に「まるく明るい佳い年であること」を願って制作された大日如来様(円明)です。このような作品の制作依頼も受け付けています。



## 大阪から東北へ 気仙沼へ生活物資をお届けしました。



↑トラックの荷台に物資を積み込みます。大阪からの想いを込めて!

先日3月16日、気仙沼市で仮設住宅の支援や災害ボランティアの受け入れなどの活動をされている団体「ボランティアステーションIN気仙沼」へ、大阪市と関西経済連合会の協力を得て、仮設住宅用に照明器具約400個、ベッド約40台を送りました。市社協からもお菓子類やおもちなどを一緒に積み込みました。

届いた物資はボランティアステーションIN気仙沼のスタッフにより市内に点在している仮設住宅へ、それぞれの住民のニーズに応じて配布する予定となっています。



↑トラックから物資を積み下ろすボランティアステーションのスタッフさん。皆さんの生活のお役に立ててください!